

地域コミュニティの拠点 ～開館2年目の東野校区公民館～

現在、市内には味坂、御原、立石、三国、東野の各校区公民館、小郡交流センター及びのぞみがおか生楽館の7つの地域コミュニティの拠点があります。

今回は、平成19年4月開館した東野校区公民館（ひまわり館東野）の概要や特色ある取り組みについて、紹介します。

施設の概要

①建設費用

建設費用は、総額約3億3,600万円、国補助金（防衛施設周辺民生安定施設整備補助金）約1億1,000万円と地方債約1億5,600万円を充て、残りは一般財源を使っています。

②広さ・部屋の種類・設備

建物は、延床面積約1,148㎡で、和室2室、学習室3室、料理実習室及びホール7部屋あります。また、防音室（カラオケなど用）、車椅子対応調理台、多目的トイレなど幼児から高齢者まで利用しやすい設備を備えています。

③使用料

部屋ごとに時間帯で料金が設定されています。冷暖房使用料は別途必要です。なお、市主催の行事に使用する場合は、免除になります。

④職員体制

常勤の館長1名と非常勤の社会教育指導員2名で、地域の皆さんの学習や活動の支援をしています。

⑤利用状況

平成19年度の利用者は、1万9,544人で月平均1,628人。平成20年度は、9月現在月平均2,700人余で、年間利用は3万人を超えると予想されます。



▲多目的トイレ

特色ある取り組み

内田和夫館長は、「まだ、開館後間もないため、サークル活動が中心ですが、ひまわり館東野を知ってもらうことが先決」と東野校区や大原校区に公民館だよりを回覧し周知に努力されています。また、ほかの校区公民館にはない特色ある事業としては、「農事体験講座」や「子どもチャレンジ教室」に取組んでおり、今後の計画として、介助実務を含んだ介護関係の講座を予定しているそうです。

①農事体験講座

団塊の世代を中心に、高齢者をも含んだ地域の方々を対象に、土作りや種まきから収穫まで農事の実務を学ぶもの。今年は、ジャガイモ、ナス、オクラなどを収穫しました。



▲ジャガイモの収穫

②子どもチャレンジ教室

土曜日や夏休み期間の子どもの居場所づくりとして、エコクラブト、ペタンク、将



▲つどいのひろば



▲浴衣着付け

③つどいのひろば ぼかぼか

昨年6月から育児支援施設として、併設しています。幼稚園や保育園に行っていない就学前の乳幼児とその家族と一緒に遊んだり、ゆつくり過ごせるところです。月曜から土曜の9時から16時まで開いており、利用は無料です。19年度は、延べ9,349人の利用がありました。

棋、浴衣着付け、茶道、華道の各教室を開催しました。